

報道関係者各位

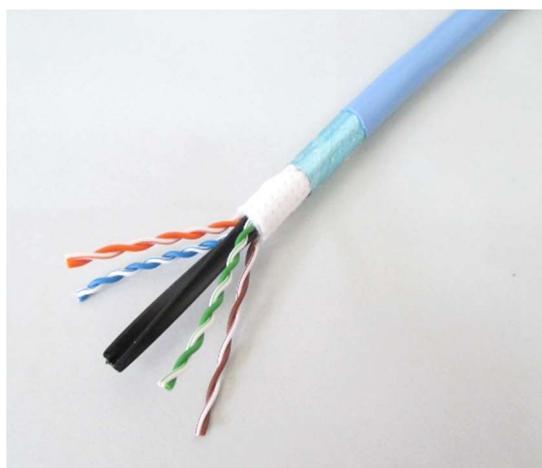
2021年7月8日
富士電線株式会社

Cat.6A規格対応TPCC® 6A(10Gigaコイル)改良品市場投入について ～ケーブル可とう性の向上、梱包箱の小型軽量化～

富士電線株式会社(本社:神奈川県伊勢原市、代表取締役社長:兒玉喜直)は、LANケーブル「TPCC® 6A(10Gigaコイル)」※の可とう性(やわらかさ)を大幅に向上した新仕様品を開発、2021年7月より製造を開始いたしました。

また、今回の改良により、梱包箱を小型軽量化し、輸送時のCO₂排出削減による環境負荷軽減も実現しております。

※TPCCは富士電線株式会社の登録商標です。



■改良の背景

2019年12月に文部科学省が打ち出した「GIGAスクール構想」により、10ギガビット伝送に対応したCategory 6A(Cat.6A)の需要が大幅に増加し、当社「TPCC® 6A(10Gigaコイル)」の需要も堅調に推移してまいりました。当社製品をご利用いただくお客様が増える中、ケーブル可とう性の向上に対する要望が寄せられたことから、今回改良品の製造にいたしました。

また、これまで当社は環境貢献製品の開発など、環境に配慮する取り組みに力を入れてまいりましたが、本製品では、梱包箱を小型軽量化し、輸送時のCO₂排出削減による環境負荷軽減を実現しております。

■新仕様の特長

① ケーブル可とう性の大幅な向上

可とう性が低いと、ケーブルが硬く、反発により施工がしにくいという問題が生じますが、今回改良した「TPCC® 6A(10Giga コイル)」では、押え巻の材質を変更したことで、従来製品比約 1.8 倍の可とう性向上を実現し、施工時の作業効率向上に大きく貢献しています。

② 梱包箱サイズの小型化

ケーブル可とう性向上への改良により、従来製品比、製品保管スペース約 3 割の圧縮と、積載効率 1.5 倍を実現しました。輸送時の CO₂ 排出削減による環境負荷軽減に貢献しています。

<比較表>

| | 項目 | 従来品 | 改良品 |
|------|-------------|---|---|
| ケーブル | サイズ×対数 | 23AWG×4P | 23AWG×4P |
| | 仕上外径(約 mm) | 7.7 | 7.5 |
| | 概算質量(kg/km) | 53 | 47 |
| 梱包箱 | 奥行×高さ×幅(mm) |  500×480×276 |  450×430×270 |

Cat.6A 規格に対応したケーブルは、今後更なる需要拡大が見込まれております。当社は、今後も LAN ケーブルの新しいニーズに対応すべく、製品の研究・開発・改良に努めてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

～ 照会先 ～

富士電線株式会社 東京事務所

TEL: 03-5217-0911

～ 報道機関お問合せ先 ～

昭和電線ホールディングス株式会社 経営戦略企画部 戦略課 IR・広報グループ

TEL: 044-223-0520 FAX: 044-223-0547